

2月18日：経済への懸念からベトナム株は3日続落

ベトナム株は火曜日に下落、世界経済の停滞への懸念によつての動きだつた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.73%安の927.93ポイントで取引を終えた。

出来高は1億8770万株で売買代金にして3.55兆ドンであつた。

相対取引では1億6430万株、売買代金にして2.73兆ドンが取り引きされた。

中国を中心にアジアの製造活動の復旧の遅れへの懸念から投資家心理は悪化したとMB証券は語つた。

また、アップル社の悲観的な売上見通しがアジアの工業や製造業の反発を妨げるこゝに
なつた。

さらに、コロナウイルスの蔓延による懸念も重荷となつた。

ベトナム株においては、投資家はそれらの懸念の中で投資家は警戒感を高めたままであ
つたと同社は語つた。

大型株が下げを主導。VN30指数は0.53%ほど下落した。

VN30採用銘柄の内の16銘柄が下落した。

FLCファロス建設(ROS)、サイゴンビール(SAB)、ビンググループ(VIC)、ビン
コムリテール(VRE)、ホアファットグループ(HPG)、ビナミルク(VNM)などが
下落した。

下落した16銘柄は0.3-6.9%ほど下落した。

不動産、エネルギー鉱山、飲食料品、建設資材、運輸などは振るわなかつた。

一方、IT、銀行、小売、ヘルスケア医薬品、水産加工などは上昇をした。

ポジティブなこととしては、投資家が中小型株に投資機会を見出そうとしている点が挙
げられる。

中小型株指数はそれぞれ0.14%と0.39%ほど上昇をした。



MB証券はVN指数は900-920ポイントで推移すると予想した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.46%上昇し110.07ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日には0.16%ほど下落していた。

出来高は4400万株で売買代金にして8700億ドンほどであった。



ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。